

特別支援学級

特別支援学級では、普通学級での学習では負担が大きく感じる子に対して、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的な自立を可能な限り実現していくための指導を行っています。

本校では一人一人の特性に合わせ、きめ細かな指導を行うとともに、交流学級を決め、できる範囲で同じ学年の通常学級との関わりを持ち、多くの児童との交流を深めています。

◆学習について

少人数に対して教師が1人配置されるため、きめの細かい指導が可能となります。児童個々の能力に応じたカリキュラムを組むこともできます。



◆保護者との連携について

通学班での登下校が難しい場合は保護者の方の送迎をお願いしたり、保護者の方が参加をする授業内容もあり、ご協力をいただくことが多々あります。

児童が安心して学習に取り組めるよう、学校と家庭の連携を密にすることが大切と考えています。

◆一宮市内の交流

特別支援学級では、学校行事への参加の方法や学級独自の行事の持ち方についていろいろな工夫をしています。さらに、市内の特別支援学級が合同してさまざまな行事を行っています。

◇宿泊学習

毎年9月上旬に海、山の家等に宿泊し、親元を離れ、平常、学習している日常生活訓練や、集団生活におけるきまりや協調性を体得します。

この宿泊学習では自然に親しむ体験的活動や観察学習、障害を克服する訓練的な活動を中心とする宿泊訓練、親睦を図る歌やゲーム等の楽しい活動などを行います。

◇手をつなぐ子らの運動会

毎年10月上旬に小中学校合同で運動会を行っています。

運動能力を伸ばしていく種目をはじめ、学校間の親睦を深めるダンスや子どもと保護者が一緒になって楽しむ競争遊戯など、子どもたちに運動会の楽しさを味わわせるとともに小中の交流の場にもなっています。



◇手をつなぐ子らの教育展

毎年2月に、市内の特別支援学級をはじめ、いずみ作業所、いずみ更生園、母子通園、県立一宮東養護学校などが参加して教育展を開催しています。

毎年、統一テーマのもとに児童生徒による個人作品や共同作品が制作されます。また、個人の学習における進歩の状態や過程を示す展示、教師の自作教具や特別支援教育の内容に関する展示をしています。障害のある児童生徒や特別支援教育に対する地域社会への啓発や理解を深めることも大きなねらいとしています。